

# 山行報告書

受付 No.	327	登山地・ルート	権現岳
目的	雪山トレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
3・5・土	晴れ	浜松＝天女山登山口～天女山～前三ツ頭～三ツ頭 ～ 権現岳 ～ 三ツ頭～ 7:15      7:35      9:52      10:37      11:43-12:13      13:24 登山口＝浜松 14:52

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【浜松～登山口】 昨年のリベンジ登山。といっても昨年は、家で仮眠とったら寝過ぎて山行自体がつぶれ、竜頭山に変更になった。今年は最寄の八ヶ岳PAまで行って仮眠を取って明るくなってから登山口に向かうと、鉢巻道路に面したゲート前のスペースは既に埋まっており、路肩もなく、2台の車が歩道に乗り上げて止まっていた。他にスペースはないかと10分強行ったりきたりして結局自分も歩道に停める。この付近の歩道は縁石が低くて乗り越えが可能だが、雪で埋まっていたらちょっと恐い。

【登山口～三ツ頭】 ゲートを入ってすぐ、左に天女山への登り口があり、遊歩道のような道を行く。思ったよりも天女山は近かった。ここのトイレは使用可能。そこからだらだらと登って天の河原。展望良好。前三ツ頭手前から傾斜が出てきて、三ツ頭へ登ると権現岳に向けて展望が開ける。

【三ツ頭～権現岳】 三ツ頭から鞍部に下る辺りが結構風が強かった。三ツ頭までの登りで膝裏がつったようになって痛むので、鞍部で風を避け休憩がてらアイゼンを装着する。ここまでで会った入山者は年配の方が多く、追い越して行くにつれてトレースが不安定になってきた。鞍部を出て2人組を追い越し、さらに前方の1人に追いついて道を譲られると、目の前にあるのはスノーシューのトレースだけだった。足のつりが再発しないように雪を踏んで行くが、疲れたので交替。山頂に向けて右に巻き込む辺りで単独の人が下りてきた。その辺りがトラバースで、唯一悪い感じだった。ひと登りで山頂。

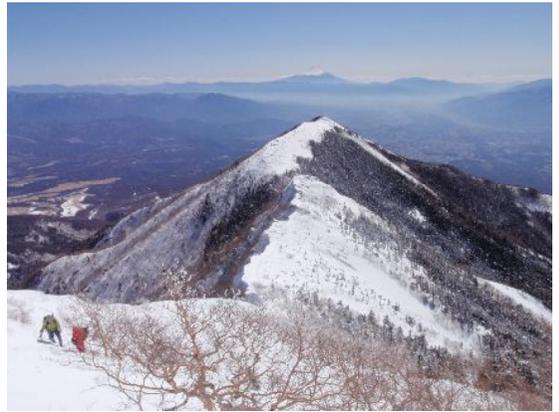
【下山】 山頂で赤岳方面の展望などを堪能し、下山しながら持ってきた双眼鏡で観察していると、権現岳東稜を登るクライマーが見え、垂直に近いような岩を登る様子を目が痛くなるまで見学した。天気は良く、展望も良く、最近のCMでよく耳にする「なんとなく幸せ～」を頭のなかで繰り返し聞きながら気分よく下山した。たくさん入山していたが、山頂まで行ったと思われるのは一部で、三ツ頭までという人も結構いるようだった。

紙面不足の場合は裏面へ

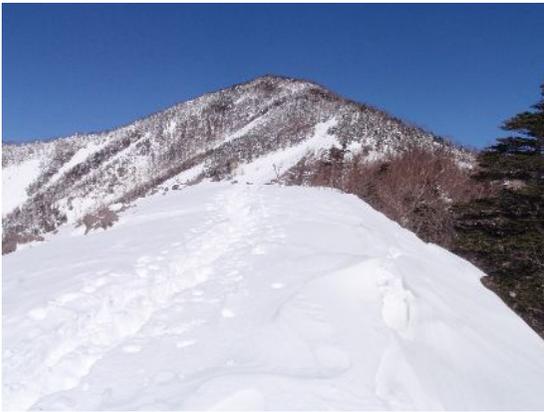
報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--



天の河原  
～登山口から1ピッチ弱でこの展望！



権現岳への登りの途中で三ツ頭を振り返る



前三ツ頭から望む三ツ頭



山頂は間近



三ツ頭まで登るとやっと権現岳が見える



朝の駐車風景…右側のスペースは歩道